

商業

教科	科目	単位数	履修年次・選択群	履修区分
商業	商品開発と流通	3	3年次・M群	選択
使用教科書（出版社）		副教材（準備するもの）		履修の条件・連絡
商品開発と流通（実教出版）				・地域共創系列および商業系列の生徒が望ましい。

1 科目の目標と評価の観点

目 標		
商業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、商品開発と流通に必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。		
評価の観点及びその主旨		
1. 知識・技能	2. 思考・判断・表現	3. 主体的に学習に取り組む態度
商品開発と流通について実務に即して体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。	商品開発と流通に関する課題を発見し、ビジネスに携わる者として科学的な根拠に基づいて創造的に解決する力を養う。	ビジネスを適切に展開する力の向上を目指して自ら学び、商品開発と流通に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

2 学習計画と観点別評価項目

	学期	学習内容（単元・項目）		月	学習のねらい	評価の観点
	1学期	1章 商品開発と流通の概要	1 私たちの生活と商品 2 商品開発の意義と手順 3 商品と流通との関わり	4	- 商品開発の手順と考え方について、その骨格を理解させる。 - 環境分析の意義について認識させる。 4W1Hにより開発テーマを整理・検討し、市場細分化によって標的市場を設定すること、またその意義について理解させる。 - 企業内の企画会議で提案することを想定して市場調査を行い、ブレインストーミングやKJ法などを用いて商品コンセプトを考案する実習をさせる。	1 2 3
学 習 の 年 間 計 画	1学期	2章 商品の企画	1 環境分析と意思決定の準備 2 市場調査 3 商品コンセプトの策定 4 商品企画の提案	5		1 2 3
		3章 事業計画の立案	1 事業計画の概要 2 価格計画 3 流通計画 4 プロモーション計画 5 事業計画書の作成	6		1 2 3
				7		
	2学期	4章 商品の開発	1 商品仕様と詳細設計 2 プロトタイプ 3 商品とデザイン 4 ブランド	9	- 詳細設計に基づき、試作品を作成し、評価の項目と基準を設定して試作品を評価し、設計・仕様の変更を行う過程について理解させる。 - 機能テストや消費者テスト、市場テストなど開発商品に関するテストの方法について理解させる。 - 開発商品のテストによって、商品コンセプトの仮説検証を行うことの重要性について理解させる。 - デザインの種類と、商品開発と関わりの深いデザインについて認識させる。 - 配色や構成などデザインに関する基礎的な知識と技法を習得させる。 - グラフィックデザインの目的と社会性、種類について理解させる。	1 2 3
		5章 商品の販売	1 知的財産権の登録 2 販売員活動 3 セールス・プロモーション	10		1 2 3
				11		
				12		

令和6年度 シラバス

愛媛県立新居浜南高等学校

	3 学 期	6章 商品開 発と流 通に関 わる新 たな展 開	1 商品開発の新たな展開 2 流通の新たな展開 3 感覚を活かした商品開発・流通	1 2 3	・流通の役割，流通の仕組みとその変 化、および流通系列化について理解 させる。 ・商品の特性に応じた流通手段の選択 について、具体的な事例を取り上げ て理解させる。 ・これまで学習した内容に基づき、商品 開発を行う実習をさせる。	1 2 3
学 習 評 価	観点	1. 知識・技能		2. 思考・判断・表現		3. 主体的に学習に取り組む態度
	規 準	○授業中に学習した事項を理解 し知識として身に付けている か。 ○実習により応用的判断が身に 付いているか。		○商品開発と流通の諸活動を日常 生活との関連からの確に把握 し、自ら考察を深め基礎的・基本 的な知識を活用して創意工夫し ているか。		○観点別学習状況の評価を通して はかる。 ○商品開発と流通の諸活動に広く 関心をもち、その意義や理解及 び諸問題の探求を目指して、主 体的に授業に参加しているか。
	手 段	・定期考査 ・実習作品 ・提出物 ・分析資料の提出		・定期考査 ・授業中の活動		・授業中の活動 ・提出物
	単元末や学期末及び年次末にお ける評価の総括方法		・考査は年2回実施。各回とも考査点70％、平常点30％で成績を評価する。 ・平常点は、授業態度、提出物の状況、演習作品の内容である。			
学習上の 留意点		・教科書を読むなどの予習をしておこう。 ・売買業に関する新聞記事の切り取りを収集しておこう。 ・実習を伴います。真剣に取り組みましょう。				